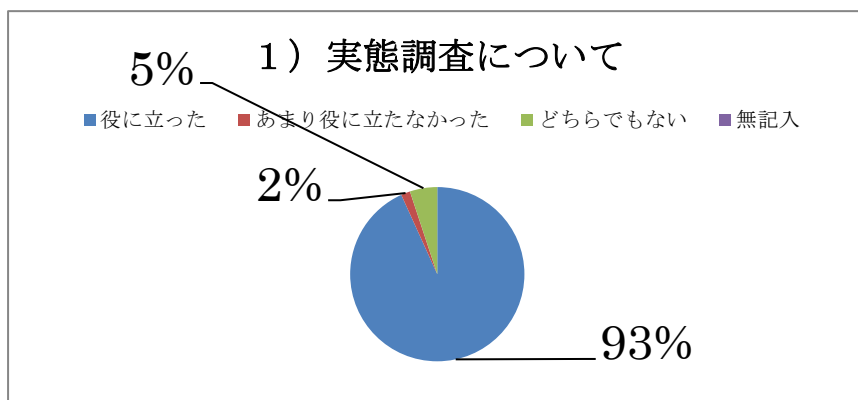


「医療ケアを必要とする方の地域支援に関する意見交換会」アンケートの報告

参加事業所数71(障がい福祉事業所33/横断支援事業所13/医療機関12/訪問看護10/行政・保健師3)

アンケート回収数 59



■医療機関

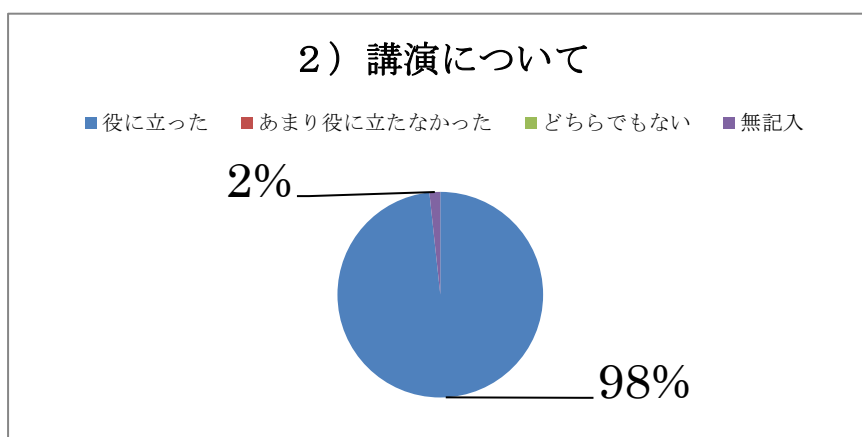
- ・障がい福祉に関して、知識として勉強させて頂いた。
- ・地域のニーズが分かって良かったです。
- ・具体的に不足している資源が分かり事業所としての取り組みを考える機会となった。
- ・短期入所の受け入れが出来ないのは、吸引ができないという実態が見えた

■施設入所・短期入所・生活介護

- ・参考にさせていただきます
- ・資料がとても見づらくもったいなかったです

■児童関連事業所

- ・有資格者の人員不足
- ・データでみることにより、改めて必要性を感じた
- ・ニーズと実態との間に差があることが確認できた



■医療機関

- ・医療機関以外でも施設などで医療的ケアが必要な方の受け入れを行っている部分は、今後の病院としての在り方を考える機会になった。

・モデルとして参考になる話でした。

■訪問看護

・居宅でのレスパイトを実施したということが印象的でした。

・まず一人の人を支えることから考える必要性という言葉が心を打った。その思いが色々なシステムを作るエネルギーになると感じた。

・福岡市東区の例でしたが、グループホームがレスパイト受け入れになっていたが介護職しかいない施設では十分な教育時間が必要ではないか

■施設入所・短期入所・生活介護

・事例を交えながら分かりやすい講演だった。新規で事業を立ち上げる事の大変さを感じた。

・夜間、休業日の看護師配置については必要だと思った。

・行政、福祉の連携の大切さ、色々と知ることが大切

・これも資料が見えず、手元資料も印字が見えずもったいない

・様々な取り組みをされ、とても参考になった

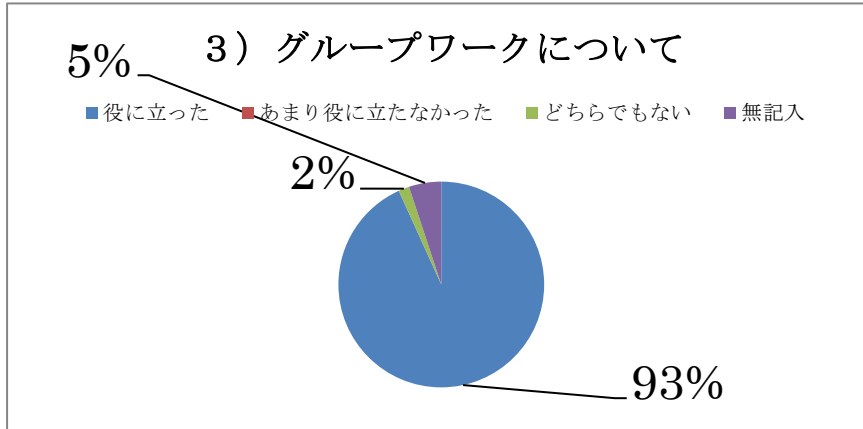
■児童関連事業所

・実際の経緯を詳しく聴く事が出来、新しい視点で今後見て行こうと思いました

・今後参考のために(福岡市の事業所を)見学したいと思います

■相談支援専門員

・地域の一人として考え、行政を巻き込んだ働きかけが重要であることが再認識できた。



■医療機関

・職種、事業所ごとに課題と感じていることを共有・提案できる場が少ないと感じた。同じような課題を抱えている事業所が多いと感じた。

・「地域を支える人」を支えるシステム作りが必要では？

・他職種の方の意見を聞いて障がい児や精神障害者の方の受け入れが難しいことを知った。

・グループの中に障がい者(成人)に関わる方がいらっしゃって、参考になりました。

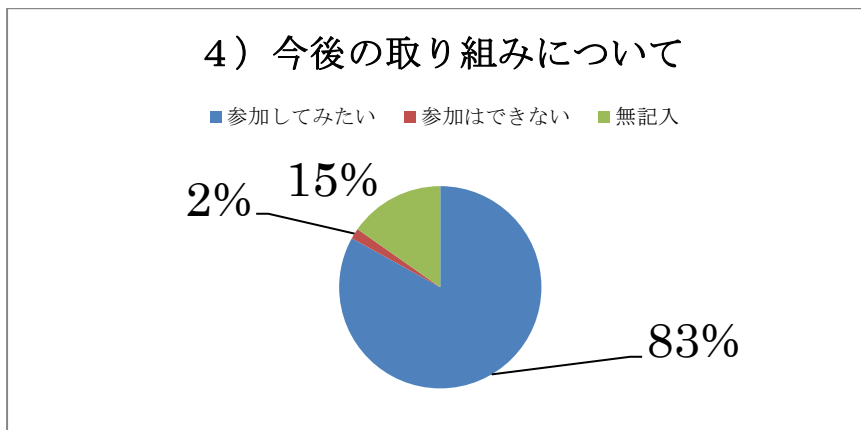
「縦割りの弊害」についてはお互いに寛容でありたいものです。

■訪問看護

・何か課題を頂いて各専門職の意見を述べさせて頂く形式のほうが発言しやすかったと思う

多分皆さん語りたことが山ほどあると思いますがテーマが漠然としていて困惑されていたと感じた

- ・虐待に対し、知識・マニュアル・フローチャートの必余生が理解できた。
- ・それぞれの抱えている問題が共有できると同時に、今後の課題・法でのしぼりやマンパワー不足等の問題も分かりました。
- ・相談支援専門員さんと関わらせて頂く貴重な機会になりました。



■ 医療機関

- ・地域包括ケアシステム(5ブロック会議)に障がい分野の方々の参加があっても良いのでは
- ・今後も他職種の方との意見等を検討していきたい気持ちはあるが、今後考えたい。

■ 施設入所・短期入所・生活介護

- ・是非

■ 児童関連施設

- ・このような課題への取り組みが必要だと思う
- ・自立支援協議会の有効的機能による課題解決と、民間事業所の活かし方

■ 相談支援専門員

- ・協力したいが時間など難しい状況もあります
- ・色々な機関と交流を持つことで、貴重な意見が聞け勉強になった
- ・災害時の取り組みについて、皆様の意見を聞きたかったです
- ・課題が多く、個々のケースでどういうサービスが必要とされているのかも様々だと思う。

また、災害時の対応についても今後考えていかなければならないと感じた

■ 保健師

- ・様々な職種の方々が集まっており、色々な意見が聞けて良かった

自由意見

■医療機関

- ・様々な事業所・職種の方の意見を聞く事が出来、大変参考になった。今まで障がい分野の方と関わる機会が少なかったため、課題や現状把握など出来ていなかった。地域課題など生の声を聴く事が出来、今後の業務に活かしていきたい。
- ・このような生の声を引っ張り出す場をもっと多く作るべき。
- ・障がい関連の方と意見交換する場がないので大変勉強になった。
- ・医療機関としてレスパイト入院などできることを協力していきたい。
- ・行動の変容に繋げられるよう今後も考えていきたい。
- ・各機関の情報がもと得られたら良いなと思いました。

■訪問看護

- ・様々な専門スタッフの方とお話しできた色々勉強になりました。
- ・他職種との意見交換を行う事でそれぞれの立場で考えている事、対応できる事、困っている事が聞けた事が良かった。
- ・グループ割は近くの事業所が集められていたようなので、より必要な情報が得られた。

■施設入所・短期入所・生活介護

- ・日頃施設の中でしか過ごす事がないので他事業所の現状を知ることができたのは良かった。
- ・グループワークではもう少し時間があれば良いと思った。児・者と別れても良いなと思った。
- ・医療的ケアの研修について、研修を受けたとして不安があるし、利用される側にしても不安があると思う。看護師が夜間・休日と常駐できるような環境になれば受け入れられる方も多くなると思う。
- ・有資格者が少ないうえ、働きながら看護師は無理に等しい。かといって社会福祉士・介護福祉士では名称だけでできる事は変わらない。医療的なケアが介護福祉士でもできる範囲を広げて欲しい。看護と介護の間の資格があればよい。
- ・多くの課題について参考になる意見を聴かせて頂いた
- ・今後も前向きに取り組んでいきたい
- ・各機関・事業所等の連携、情報共有が非常に重要だと思った。
- ・この場だけでなく他事業所・他職種との連携をしていきたいと思いました。

■児童関連事業所

- ・今現在の課題や取り組み等を意見交換することができ、勉強になりました。
(職員のスキルアップや人材不足、細やかなケア等)
- ・事業所内の課題だけでなく、今回意見交換会に参加させて頂いた中で、地域での取り組み課題について目を向けるべきだと改めて実感しました。

■相談支援専門員

- ・住み慣れた居宅で、訪問看護とヘルパーと共同で夜間対応できると家族も安心できる。ヘルパー不足もありますが、痰吸引など色んな研修が随時あればいいと思いました。

